

観光資源の再発見

～ないところにあるもの～

北海学園大学 経済学部地域経済学科 大貝ゼミ I

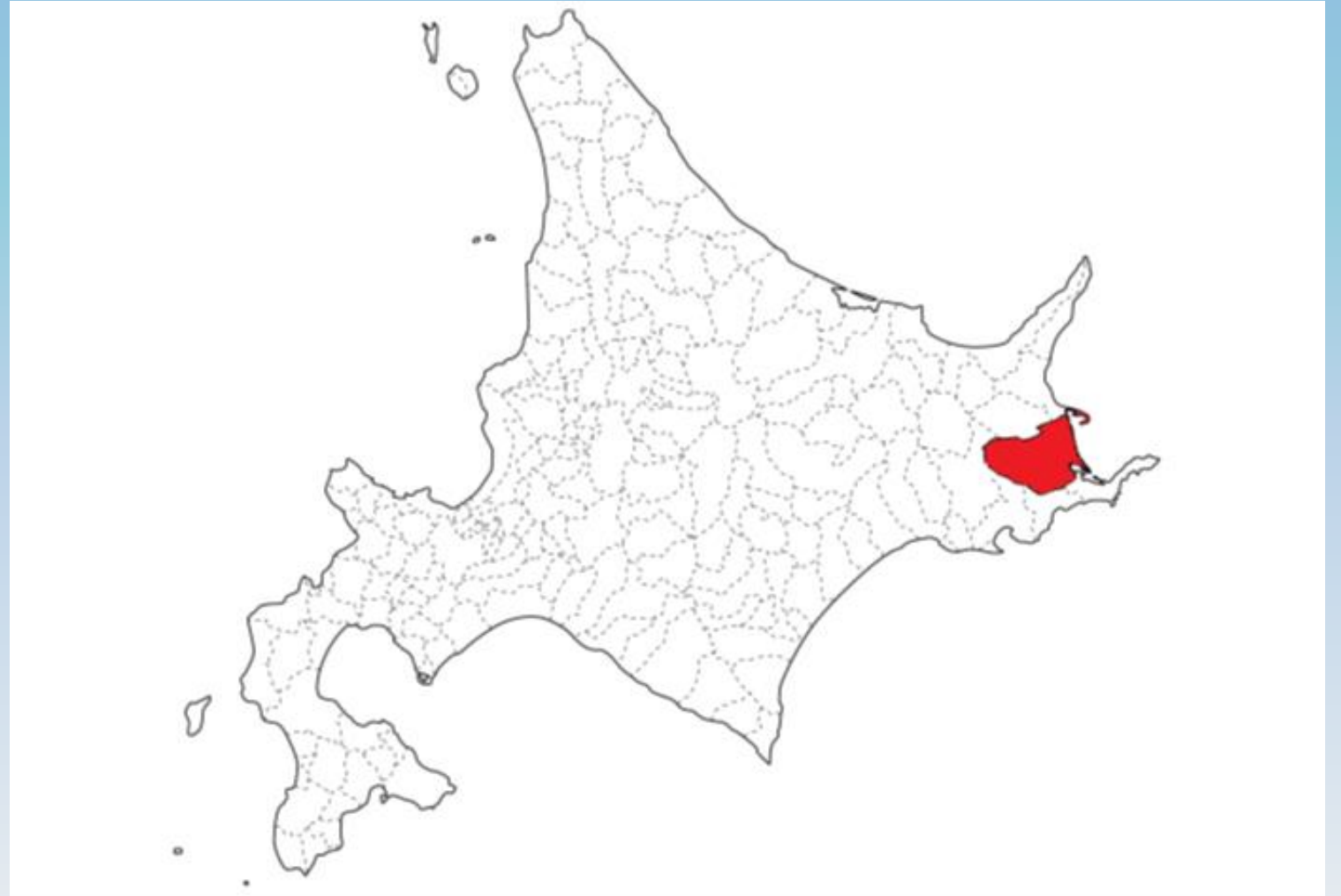
伊藤早紀 鎌田涼也 柴大斗 本田成美

発表の流れ

- 別海町の概要
- 調査動機
- なぜ別海町で観光振興を進めたいか
- なぜ観光振興が上手くいかないのか
- 観光ベースの地域振興
- 観光振興を進めると
 滞在型観光と通過型観光
- 現在の別海町の観光
- 提言

別海町の概要

- 面積 1,320.23km²
（平成23年10月現在）
- 人口 1万5,644人
（平成26年11月現在）



調査動機

別海町は観光資源が豊富



観光の町として有名にならない

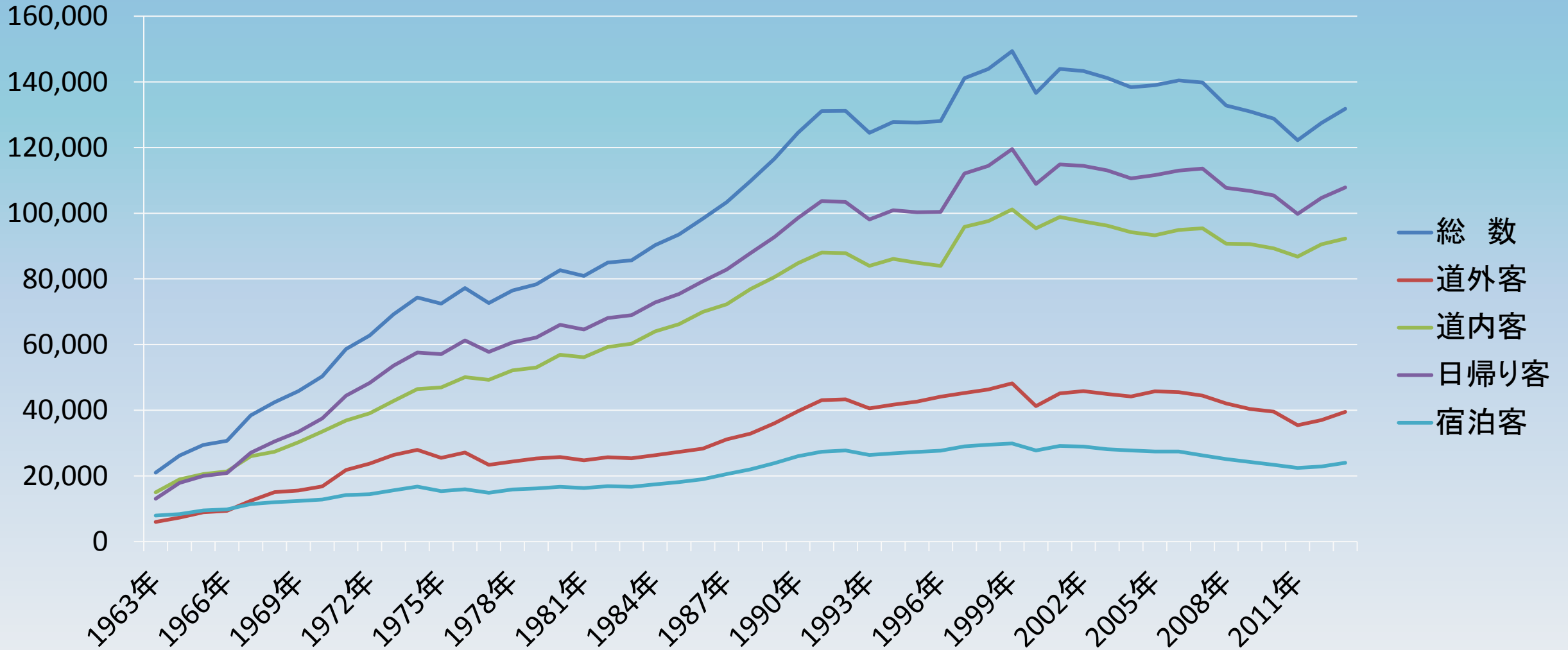


それはいったい何故なのか？



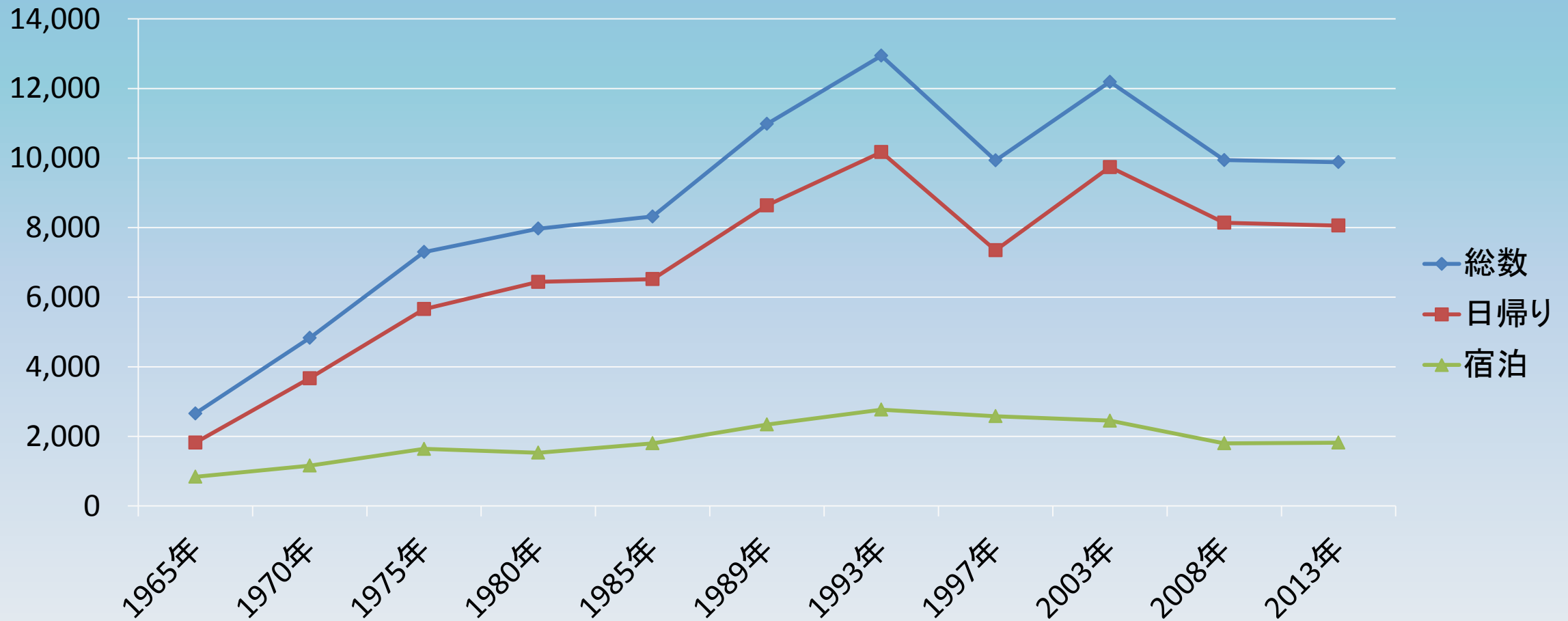
北海道の観光客入込客数

単位：千人



根室・釧路の観光入込客数

単位:千人



なぜ観光振興が上手くいっていないのか

魅力に気づいていない
地元愛・誇りの
欠如

発信の弱さ

観光に対する
まち全体の
意識の低さ

観光ベースの地域振興

経済波及効果
地域内乗数効果
定住人口の減少

観光による経済的効果

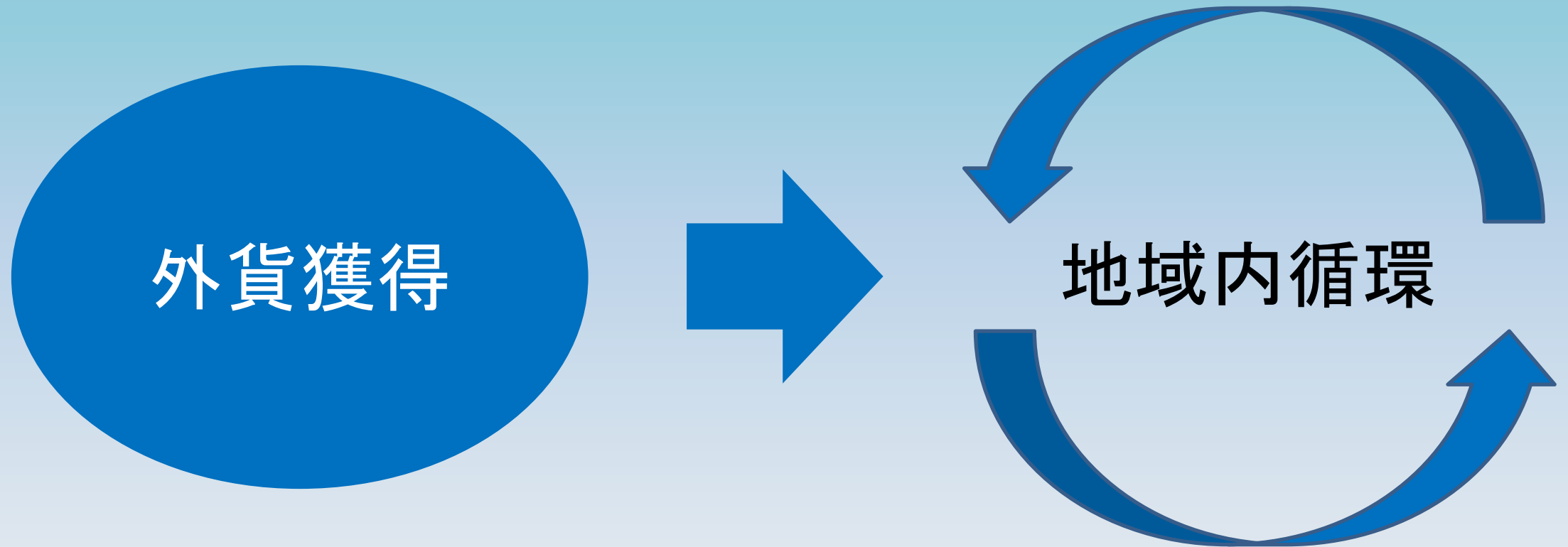
雇用・所得の創出

旅行消費の効果が多様な産業部門へ

高水準の付加価値

佐々木一成 (2008)『観光振興と魅力あるまちづくり』学芸出版社 p39.
岡本伸之 (2001)『観光学入門』有斐閣アルマ p12.

観光による地域内循環



地域内乗数効果

1万円のうち80%が地域に残る場合 (消費額)

A	8,000円	$8,000 + 6,400 = 14,400$ 円	$14,400 + 5,120 = 19,520$ 円	...
---	--------	----------------------------	-----------------------------	-----

1万円のうち20%が地域に残る場合 (消費額)

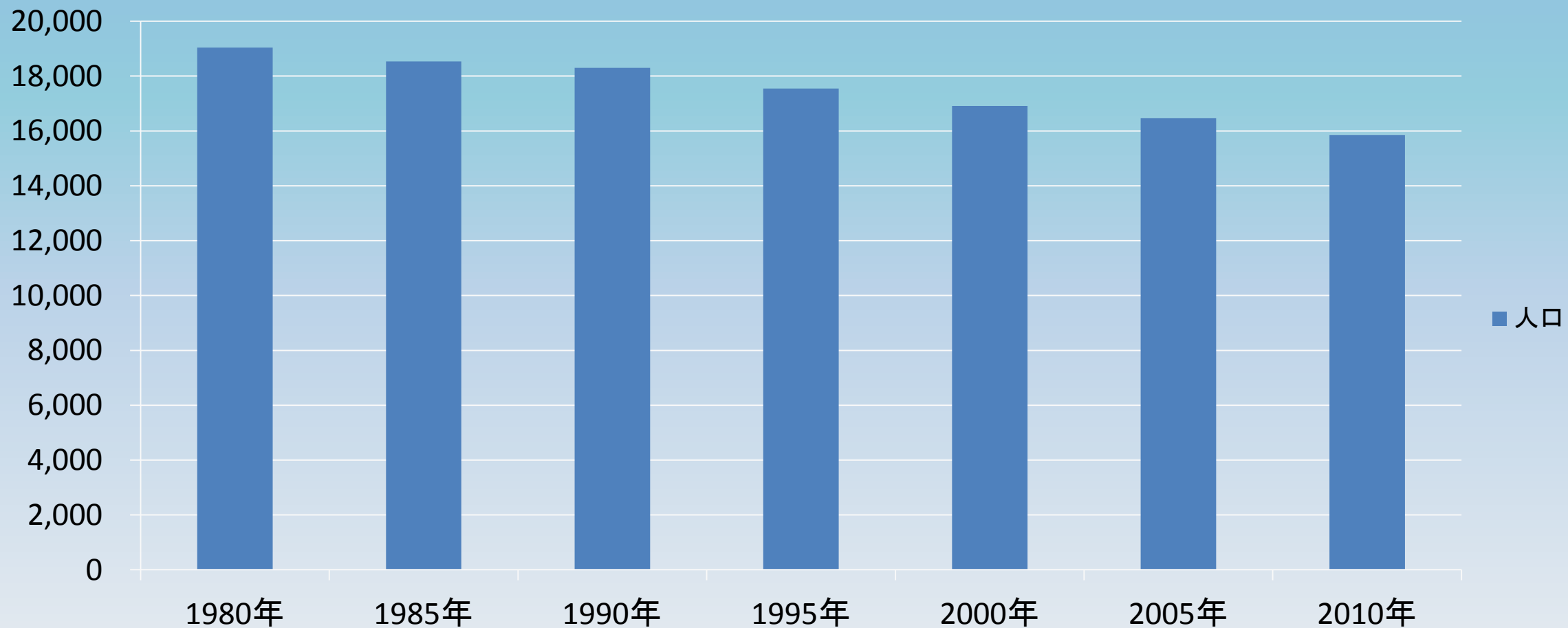
B	2,000円	$2,000 + 400 = 2,400$ 円	$2,400 + 80 = 2,480$ 円	...
---	--------	-------------------------	------------------------	-----

地域内で使われるお金

3巡目にして
約7倍の差

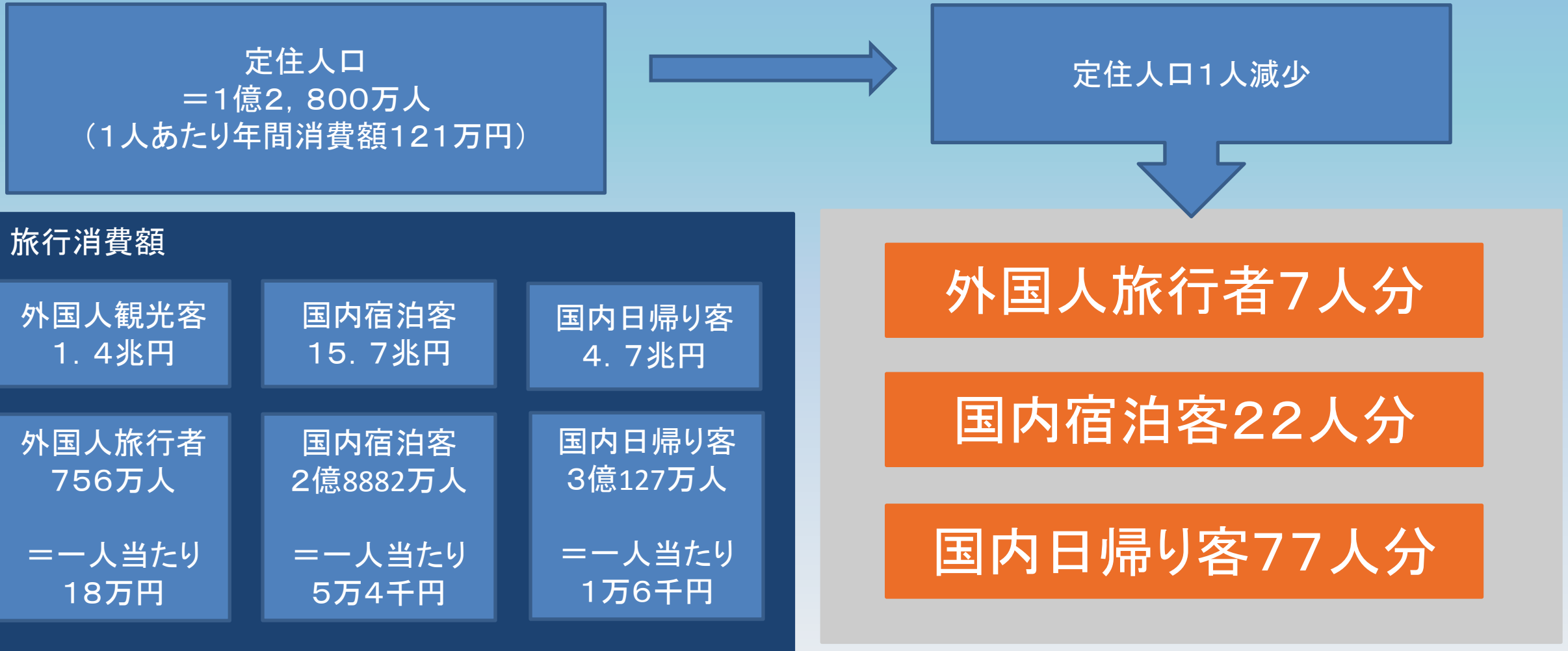
イギリス NEF より

別海町の人口の推移



別海町役場HP より

人口減少を観光客でカバー



観光振興を進めると

滞在型観光と通過型観光

一般的な観光の体系

通過型観光

短時間滞在のため観光収入が得られにくい。

滞在型観光

宿泊を伴うので通過型観光と比べ、より観光収入が得られやすい。

人口減少を観光客でカバー

定住人口1人減少

外国人旅行者7人分

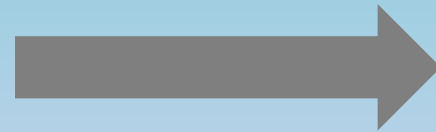
国内宿泊客22人分

国内日帰り客77人分

宿泊客1人
=日帰り客3.5人

一般的な観光地の成長例

通過型観光



滞在型観光

すでに確保できている観光客数の中でも、
宿泊人数を増やすことで徐々にその地域への滞在時間を延ばし、
より地域にお金を落としてもらう。

北海道観光局

- 道では、(公社)北海道観光振興機構とともに、自然環境など地域の資源を生かした**滞在型の観光地づくり**に取り組んでいます。

受け入れ態勢の整備

長期滞在型観光などのまちづくり支援など

観光関連人材の育成

セミナー・研修の運営など

観光統計の整備

観光入り込み客数調査など

北海道庁観光局HP より

現在の別海の観光

別海町商工観光課

別海町観光協会

別海町役場・観光協会

中小企業との相互の活性化

各種イベントの開催

食の観光日本一

カメラ女子フォトコンテスト

ヒアリング調査 より

ご当地グルメ



カメラ女子フォトコンテスト



別海町観光協会HP より

各種イベント

尾岱沼
えびまつり

町内会主催
連携に課題

道の駅
おだいとう
まつり

長期間のイベント
住民の負担の大きさ

参加者は地域住民や周辺地域の住民が中心

別海で滞在型 観光振興は可能か

域内循環とキャパシティ

別海町における 観光振興による地域内循環

・ 宿の、食材の調達・外注先

	A宿	B宿	C宿	D宿	E宿	F宿	G宿
食材	◎	◎	◎	×	◎	◎	×
外注先	▲	×	×	×	▲	▲	×

◎: ほとんどを別海町の食材を使用している

×: 特に食材の産地は意識していない

▲: 別海町の外注先を利用したいが量や金額で断念

×: 近隣市町村の外注先を使用している

図 別海町宿泊施設
ヒアリング調査

宿泊客の目的 施設のキャパシティ

	A宿	B宿	C宿	D宿	E宿	F宿	G宿
観光	◎	○		○	△	○	
ビジネス		○	◎	○	◎	○	◎
スポーツ 合宿		△			○	○	
キャパシ ティの余 剰	▲	△	△	×	×	△	▲

キャパシティの
余剰が、
ほぼない。

◎: 客の目的のメインと答えた(70%~)
○: 客の目的としてはよくあると答えた
△: リピーターのみ・ごくわずかと答えた
空欄: 特に回答がなかった

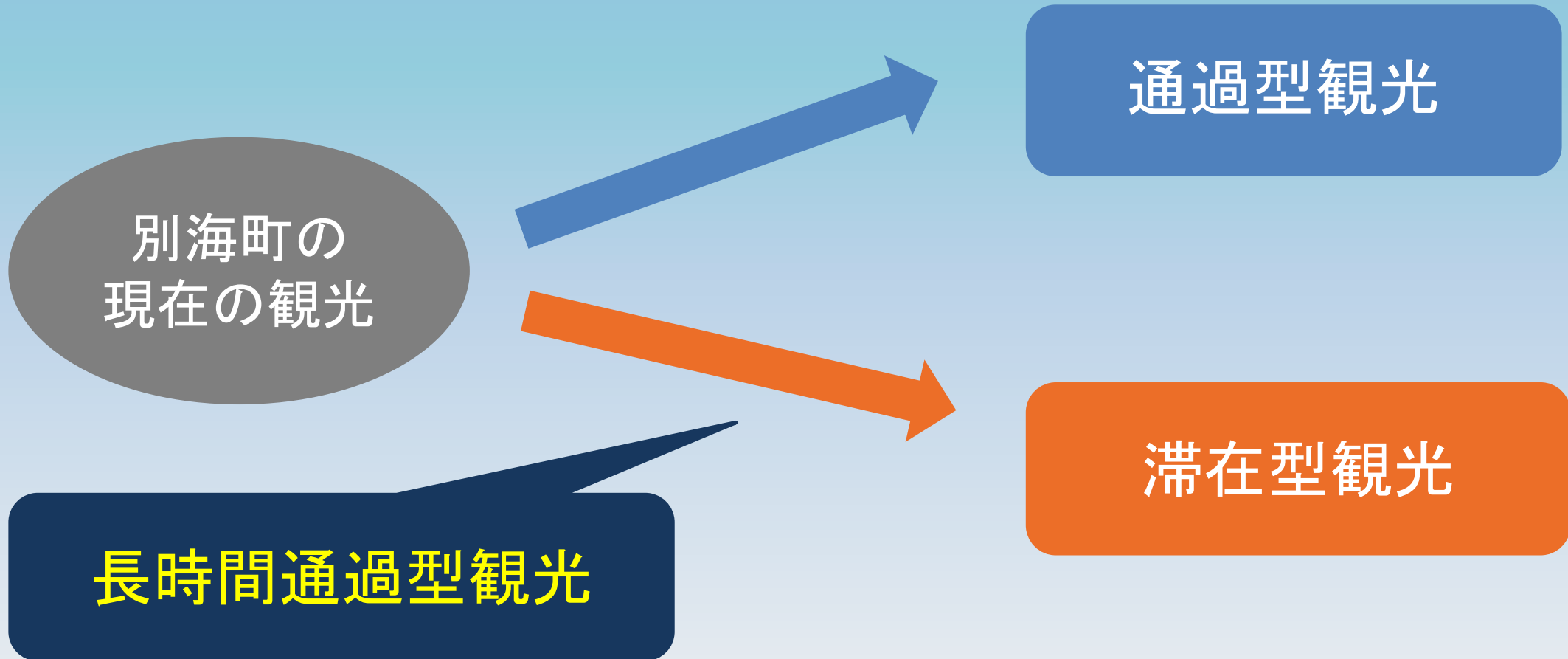
△: シーズン限定での空き
▲: 通年通してわずか
×: 通年通してあまり空きがない

図 別海町宿泊施設
ヒアリング調査

別海町の観光振興策

通過型でも滞在型でもない観光

今の別海でできる観光



ありのまま



提言

魅力を知る観光、教える観光
スポット作り

魅力を知る観光、教える観光

キャンピングカー

駐車場
提供

SNS共有で
特典
キャンペーン

魅力に気づく

住民と地域外客
合同ツアー

ガイドの育成

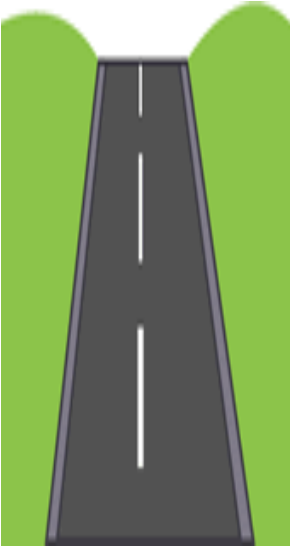
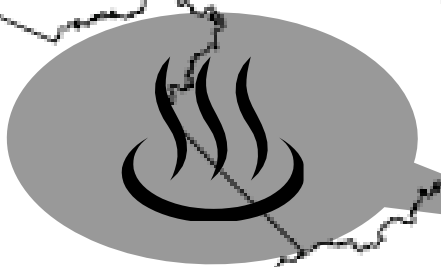
野付半島

中標津町

摩周湖

別海町

根室市



スポット作り

ターゲット：夫婦、カップル

ミルキーロード
～永遠の愛～

ミルキーウェイ
～波の音、満天
の星～



ミルクロード ～永遠の愛～



ミルキーウェイ～波の音、満天の星空～

参考文献

- 佐々木一成 『観光振興と魅力あるまちづくり』 学芸出版社
- 西村幸夫『観光まちづくり まち自慢からはじまる地域マネジメント』
- 尾家建生・金井萬造『これでわかる！着地型観光 地域が主役のツーリズム』
- 岡本伸之『観光学入門 ポスト・マス・ツーリズムの観光学』
- 大社充『地域プラットフォームによる観光まちづくり マーケティングの導入と推進体制のマネジメント』
- 敷田麻実 内田純一 森重昌之『観光の地域ブランディング 交流によるまちづくりのしくみ』
- 北海道観光入込客数調査報告書
- 北海道観光局HP
- 別海町役場HP
- 別海町観光協会HP

ヒアリング先

- 2014年 8月28日
阿部工房
押田ファーム
別海町役場 商工観光課
- 2014年 8月29日
別海町観光協会
- 2014年 10月22日
うたせ屋
民宿みさき
- 2014年 10月23日
クローバーハウス
道の宿しまふくろう
森高牧場
マグハウス
村上デンキ
- 2014年 10月24日
丸二水産
渡邊清掃
郊楽苑
- 2014年 10月25日
別海プラザホテル
森川商店